

資料 2

全国版図柄入りナンバープレートの今後の方向性について

全国版図柄入りナンバープレートの今後の方向性に関する主なご意見（第1回検討会）

<全国版の継続に関して>

- 全国版がなくなってしまうと、地方版がない地域の製造メーカーは今の設備を使用しなくなる。その後、他の図柄入りナンバープレートを出すとしても、製造をやめた地域はすぐに対応できない可能性があるため、全国版は続けてほしい。
- 図柄入りナンバープレートの製造システムはある種のインフラと言える。インフラがなくなることは避けるべきであり、全国版を継続した方が良いと思う。

地方版図柄入りナンバープレートの導入状況

- ・現在、全国133ナンバー地域のうち地方版図柄入りナンバープレートが交付されている地域は73地域。
- ・今後、令和7年5月頃からは、ご当地ナンバーの導入を伴う5地域において新たに交付される予定。これにより、全国138ナンバー地域のうち、78地域において交付されることになる。
- ・地方版図柄入りナンバープレートの導入地域は全地域の半数以上に広がりを見せる反面、未導入地域は全体の4割以上に及ぶ。
- ・今後、導入地域の新規募集を行うことになったとしても、なお未導入地域は一定程度残る可能性が高い。

全国版の継続に関して

地方版図柄入りナンバープレートの交付地域一覧

導入地域：73/133地域
図柄：68種類

東北運輸局管内 (57%)



北海道運輸局管内 (6%)



中国運輸局管内 (65%)



北陸信越運輸局管内 (66%)



関東運輸局管内 (46%)



近畿運輸局管内 (26%)



九州運輸局管内 (57%)



中部運輸局管内 (21%)



沖縄総合事務局管内 (100%)



四国運輸局管内 (100%)



濃緑：都府県内全域で地方版図柄入りナンバープレートを交付
薄緑：道県内の一部地域で地方版図柄入りナンバープレートを交付
白：府県内で地方版図柄入りナンバープレートを未交付

※括弧内の数値は、各運輸局等管内の保有車両数に対する地方版図柄入りナンバープレートの交付地域の保有車両数の割合である。
なお、全国では45%である。

地方版図柄入りナンバープレート導入地域

運輸局	都道府県	運輸支局等	ナンバー名	運輸局	都道府県	運輸支局等	ナンバー名	運輸局	都道府県	運輸支局等	ナンバー名	運輸局	都道府県	運輸支局等	ナンバー名		
北海道	北海道	札幌	札幌	関東	埼玉	大宮	北陸信越	富山	富山	富山	近畿	奈良	奈良	奈良			
		函館	函館			埼玉				大宮				石川	石川	奈良	飛鳥
		旭川	旭川			熊谷				熊谷				石川	金沢	和歌山	和歌山
		室蘭	室蘭			春日部				春日部				長野	長野	鳥取	鳥取
		釧路	釧路			越谷				越谷				松本	松本	島根	島根
		知床	知床			所沢				所沢					諏訪	岡山	岡山
		帯広	帯広			十勝				十勝				安曇野	安曇野	倉敷	倉敷
北見	北見	知床	知床	南信州	南信州	広島	広島										
東北	青森	青森	青森	千葉	千葉	成田	中部	福井	福井	福井	四国	徳島	徳島	徳島			
		弘前	弘前			野田				野田				岐阜	岐阜	香川	香川
	岩手	岩手	岩手	岩手	野田	柏	静岡	静岡	沼津	沼津	愛媛	愛媛	愛媛				
		盛岡	盛岡	習志野	習志野	松戸	松戸	伊豆	伊豆	高知	高知	高知					
	宮城	宮城	宮城	宮城	品川	品川	愛知	愛知	名古屋	名古屋	福岡	福岡	福岡				
		仙台	仙台	世田谷	世田谷	豊橋								豊橋	北九州	北九州	
	秋田	秋田	秋田	秋田	足立	足立	西三河	西三河	岡崎	岡崎	久留米	久留米	久留米				
	山形	山形	山形	山形	江東	江東	小牧	小牧	尾張小牧	尾張小牧	佐賀	佐賀	佐賀				
		庄内	庄内	庄内	葛飾	葛飾								長崎	長崎	長崎	
	福島	福島	福島	福島	江戸川	江戸川	三重	三重	三重	三重	九州	長崎	長崎	長崎			
会津			会津	練馬	練馬	三重									三重	佐世保	佐世保
郡山			郡山	杉並	杉並	鈴鹿									鈴鹿	熊本	熊本
いわき	いわき	白河	白河	板橋	板橋	四日市	四日市	四日市	四日市	大分	大分	大分					
茨城	茨城	水戸	水戸	多摩	多摩								伊勢志摩	伊勢志摩	宮崎	宮崎	宮崎
関東	茨城	土浦	土浦	八王子	八王子	神奈川	神奈川	横浜	横浜	滋賀	滋賀	滋賀	滋賀				
		つくば	つくば	神奈川	横浜									京都	京都	京都	京都
	栃木	宇都宮	宇都宮	相模	相模	大阪	大阪	大阪	大阪	近畿	大阪	大阪	大阪				
		那須	那須	湘南	湘南									なにわ	なにわ	沖繩	沖繩
	日光	日光	山梨	山梨	山梨	和泉	和泉	和泉	和泉	沖繩	沖繩	沖繩					
佐野	佐野	富士山	富士山	堺	堺	八重山	八重山										
群馬	群馬	群馬	群馬	新潟	新潟	新潟	新潟	兵庫	兵庫	神戸	神戸	図柄入りナンバー導入済み					
		高崎	高崎			長岡	長岡					姫路	姫路	令和7年5月頃に導入される予定			
		前橋	前橋	長岡	長岡	上越	上越										

全国で交付される図柄入りナンバープレートの現状について

① 全国版図柄入りナンバープレートについて



- ラグビーワールドカップ特別仕様ナンバープレートや東京2020オリンピック・パラリンピック特別仕様ナンバープレートに続く全国版の図柄入りナンバープレート。
- デザインは全国47都道府県の花をモチーフとすることで、「日本全体で立ち上がろう」という思いが込められている。
- 交付期間は、令和4年4月18日～令和9年4月30日である。



② 大阪・関西万博特別仕様ナンバープレート

- 大阪・関西万博の全国的な機運の醸成や意識の高揚を図る観点から全国の希望者に交付。
- 万博の開催期間を踏まえ、交付期間は、令和7年12月26日までの予定。

③ 2027年国際園芸博覧会特別仕様ナンバープレート

- 大阪・関西万博と同様に、国際園芸博覧会の全国的な機運醸成を図る観点から、今後全国の希望者に交付を行う予定。
- 交付期間は、同博覧会の開催期間を踏まえ、今後決定する予定。
(国際園芸博覧会の開催期間は、令和9年3月19日～令和9年9月26日。)

(参考) 図柄入りナンバープレートの交付期間等について

図柄入りナンバープレートの種類	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
ラグビーワールドカップナンバープレート	H27.11 基本方針 ^(※1) 記載で検討 開始		H29.4~R2.1										
東京オリンピック・パラリンピック ナンバープレート	H27.11 基本方針 ^(※1) 記載で検討 開始		H29.10~R3.11										
全国版図柄入りナンバープレート					R2.3 新たな図柄入り ナンバープレート に関する検討 会（第1回） で検討開始			R4.4~R9.4					
大阪・関西万博ナンバープレート						R2.12 基本方針 ^(※2) 記載で検討開 始		R4.10~R7.12					
国際園芸博覧会ナンバープレート									R5.8 基本方針 ^(※3) 記載で検討開 始			

※1 2020年東京オリンピック競技体・東京パラリンピック競技大会の準備及び運営に関する施策の推進を図るための基本方針

※2 2025年に開催される国際博覧会（大阪・関西万博）の準備及び運営に関する施策の推進を図るための基本方針

※3 2027年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）の準備及び運営に関する施策の推進を図るための基本方針

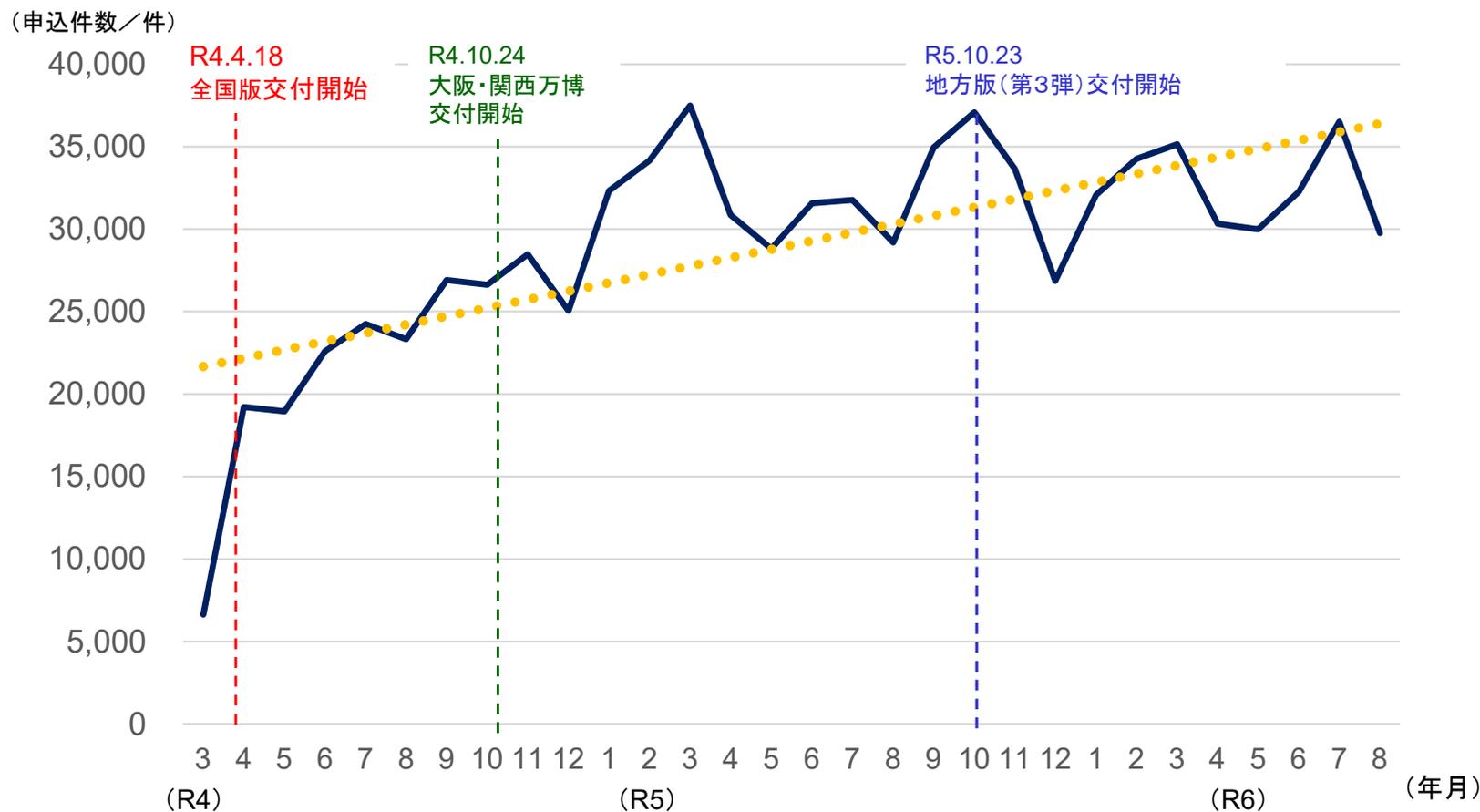
図柄入りナンバープレートの種類	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
第一弾地方版図柄入りナンバープレート (40地域)	H27.8 図柄入りナン バープレート制 度検討会（第 1回）で検討 開始			H30.10~										
第二弾地方版図柄入りナンバープレート (17地域)	H27.8 図柄入りナン バープレート制 度検討会（第 1回）で検討 開始					R2.5~								
第三弾地方版図柄入りナンバープレート (5都県・5地域)							R3.10 新たな図柄入り ナンバープレート に関する検討 会（第7回） で検討開始	R5.10~						
第四弾地方版図柄入りナンバープレート (5地域)							R3.10 新たな図柄入り ナンバープレート に関する検討 会（第7回） で検討開始				R7.5頃~			

全国版図柄入りナンバープレートの今後の方向性に関する主なご意見（第1回検討会）

- 今の図柄がそれなりに堅調に推移しているのであれば、継続で良いのではないか。

全国版図柄入りナンバープレートの申込状況

申込開始以降、2年以上経過したが、現行のデザインの全国版図柄入りナンバープレートの申込件数は、引き続き順調に推移している。



全国版図柄入りナンバープレートの今後の方向性に関する主なご意見

<全国版の種類を複数とすることについて>

- 図柄が変わった場合に前の図柄を付けたい方もいると思うので、例えば数か月図柄を残し、新しいデザインに移行する方法も良いと思うが、二重で製造するというのはコスト的にも大変かと思う。
 - (現在のデザインを) 継続する場合にはデザインが重なる時期があっても良いと思うが、具体的にどういった形で重なり合う期間を設けるのか、その場合のコスト見合いの問題等についてはちょっと深掘りしていただきたい。
 - 大阪万博や園芸博は地域性が強い。コンセプトの偏りが無いナンバープレートが1種類だけではなく同時に2種類あり選択できる方が普及率は上がるのではないか。
- ⇒ デザインを複数種類とする(一時的に重複期間を設けることを含む)場合、交付代行者や標板メーカーによる追加の費用負担(生産・保管場所の確保や製造装置の追加購入等)が必要となるところ。別途議論いただくモノトーン版の今後の継続要否を踏まえつつ、交付代行者や標板メーカーにヒアリングを行ったうえで、判断することとしてはどうか。

(まとめ) 今後の方向性

<全国版の継続に関して>

- 【全国版の存続について】万博特別仕様ナンバープレート等の交付終了後のことを考えた場合、地方版図柄入りナンバープレートの未導入地域が一定程度存在する状況であることを踏まえると、そうした地域の交付代行者や標板メーカーの図柄入りナンバープレートの供給体制の維持や自動車ユーザーが図柄入りナンバープレートを選択できる環境の確保を図るため、今回は「**全国版図柄入りナンバープレート**」を継続させることとしてよいか。
- 【デザインの見直しについて】現在の47都道府県の花をモチーフとするデザインの交付状況が堅調に推移していることを踏まえると、すぐにデザインを変更する必要性は低いと受け止めて、**令和9年5月以降も引き続き、現行のデザインのまま進めることとしてはどうか。**

<全国版の図柄の種類を複数とすることについて>

- 【デザインの追加について】デザインを複数種類とすること（一時的に重複期間を設けることを含む）については、交付代行者や標板メーカー等への負担が生じる可能性があり、そうした点について配慮が必要。
このため、**まずはモノトーン版の今後の取扱いを整理し、その結果も踏まえつつ、交付代行者等のコスト見合いの問題等を考慮の上、今後、判断することとしてはどうか。**